

ちゃんと かわら版 千歳



末広小学校 アイヌ民族の食文化に親しもう!

市立高台小学校にて同校の卒業生である渥美正博さん(65歳)による後輩在校生へ向けた特別教室が行われました。渥美さんは、日本初の純国産ロケット「H-II」のメインエンジンを開発したチームの中心的エンジニアです。

渥美さんは小学2年生の時に同校に転入し、中学校卒業まで千歳市で過ごしました。東京大学大学院を経て、三菱重工業株式会社へ入社しロケット開発に携わりました。



「イランカラブテ!」(こんにちは)と元気な声で挨拶を交わす子どもたちが通う千歳市立末広小学校にて11月19日、「アイヌ民族の食文化に親しもう!」をテーマに給食が振る舞われました。

メニューは、「ユクオハウ(山菜・

肉類を煮込んだ汁物)

「いなきびごはん」「チボエプ(カボチャの混ぜ煮)」「サケフライ」です。

児童の給食前の関係者による試食会では、学校給食センターや千歳アイヌ協会などの関係者が一堂に会し、文化活動アドバイザー中

だけの受験勉強一辺倒にはならないでほしい」と伺いました。

特別教室では渥美さんはH-IIロケットの打ち上げ映像や、アポロ月面着陸船のロケット切り離しの方法などについて解説しました。その後ロケットの大きさなどのクイズが出題されたり、大きなロケットが必要な理由をアポロロケットの模型を

使つて説明しました。

初めはしづかに説明を

聞いていた児童たちは、

クイズの答えをクラスメ

イトと相談したり、模型

を手にとつて搭載物との

大きさの差に驚いたり

と、ロケットやその打ち

上げに興味深々となりま

した。

(編集 小西)

渥美さんは小学2年生の時に同校に転入し、中学校卒業まで千歳市で過ごしました。東京大学大学院を経て、三菱重工業株式会社へ入社しロケット開発に携わりました。

特別教室では子どもたちへ、基礎知識や、仲間を集めること、最後までやり抜く力が必要であることなどを伝えたい。

社会に出てからは思考力が必要となるので、暗記

さんから「この特別教室では子どもたちへ、基礎知識や、仲間を集めること、最後までやり抜く力が必要であることなどを伝えたい。

社会に出てからは思考力が必要となるので、暗記

さんから「この特別教室では子どもたちが興味をもつていいなかったのですが、講話を聞いて宇宙に興味が湧きました。自分たちの小学校の卒業生にこんなに博識な人がいると思うとうれしくなりました」と話しました。

特別授業の後、林凜太朗さん(11歳)は「初めは、あまり興味をもつていな

かったのですが、講話を聞いて宇宙に興味が湧きました。自分たちの小学校の卒業生にこんなに博識な人がいると思うとうれしくなりました」と話しました。

特別授業の後、林凜太朗さん(11歳)は「初めは光熱費を重視していました。暮らしのコツを会員たちが説明し、その後、保温調理に役立つ「鍋帽子」を使つた調理が実演されました。鍋帽子とは綿の入った座布団と帽子を模したドーム型のグッズのこと。鍋にかぶせることで、余熱での調理になるため、ガスや電気の節約になり、煮物など長時間煮込む料理などに重宝されます。

作つたメニューはツナとニンジンの炊き込みピラフ。お米が入つた鍋にニンジン、ツナを加えて5分ほど加熱し、その後鍋帽子をかぶせ、20分ほどおいて完成。完成した料理の

原直彦講師から同イベントの意義や、メニューや食材提供の説明がありました。配膳されると関係者は、先住の人々の食事とは思えない多彩な献立を見て驚き、おいしさに舌鼓を打ちました。

児童の給食の時間には、関係者一同が各教室を廻り、子どもたちの食事の様子を伺いました。教室では「お肉がおいしい」とおなじいぱいの満足顔で話しました。

昨年に続いて2回目となるこの企画は、子どもたちにアイヌ文化への親しみをもつてほしいといふ思いで始められ、食材は地元業者からのシカ肉の仕入れや、千歳川のインディアン水車で獲れたサケを使ったサケフライなど地元産にこだわりました。今回給食として、市内の全小・中学校で9000食が提供されました。

児童会会長6年の大泉壱音(かずと)さんは、「昔のアイヌの人たちが、現

た。試食も行われ、参加者は5分という短い加熱時間できちんとおいしくなつているのか疑いの表情を見せましたが、食べる

者とそのおいしさに表情が一変。驚きと笑顔で会場は盛り上がりました。

最後は家計簿をつけたことで予算が立てられたこと、急な出費があつても問題なく対応できたこと、今はスマホアプリで家族と一緒に家計簿がつけられるなど会員の体験談が会員から語られ、講習会は終わりました。

参考までに、参加者の木村ゆかりさんは「今まで家計簿をつけたことがなくて、支出が可視化されていませんでした。今まで無駄な支出が多かつたはずでした。早く家計簿をつけたいと

思いました」と意欲に満ちた顔で話しました。

（編集 佐々木）

はじめは光熱費を重視していました。暮らしのコツを会員たちが説明し、その後、保温調理に役立つ「鍋帽子」を使つた調理が実演されました。鍋帽子とは綿の入った座布団と帽子を模したドーム型のグッズのこと。鍋にかぶせることで、余熱での調理になるため、ガスや電気の節約になり、煮物など長時間煮込む料理などに重宝されます。

作つたメニューはツナ

とニンジンの炊き込み

ピラフ。お米が入つた鍋にニンジン、ツナを加えて5分ほど加熱し、その後鍋帽子をかぶせ、20分ほどおいて完成。完成した料理の

原直彦講師から同イベ

ントの意義や、メニューや

食材提供の説明がありま

した。配膳されると関係

者は、先住の人々の食事

とは思えない多彩な献立

を見て驚き、おいしさに舌鼓を打ちました。

児童の給食の時間に

は、関係者一同が各教室

を廻り、子どもたちの食

事の様子を伺いました。

教室では「お肉がおいし

い」など、あふれる笑顔

で思い思いの感想を声に

しながら、子どもたちは

おいしそうに給食を食べ

ました。

児童会会長6年の大泉

壱音(かずと)さんは、「昔

のアイヌの人たちが、現

た。

（編集 佐々木）

はじめは光熱費を重

視していました。暮らしのコツを会員たちが説明し、その後、保温調理に役立つ「鍋帽子」を使つた調理が実演されました。鍋帽子とは綿の入った座布団と帽子を模したドーム型のグッズのこと。鍋にかぶせることで、余熱での調理になるため、ガスや電気の節約になり、煮物など長時間煮込む料理などに重宝されます。

作つたメニューはツナ

とニンジンの炊き込み

ピラフ。お米が入つた鍋にニンジン、ツナを加えて5分ほど加熱し、その後鍋帽子をかぶせ、20分ほどおいて完成。完成した料理の

原直彦講師から同イベ

ントの意義や、メニューや

食材提供の説明がありま

した。配膳されると関係

者は、先住の人々の食事

とは思えない多彩な献立

を見て驚き、おいしさに舌鼓を打ちました。

児童の給食の時間に

は、関係者一同が各教室

を廻り、子どもたちの食

事の様子を伺いました。

教室では「お肉がおいし

い」など、あふれる笑顔

で思い思いの感想を声に

しながら、子どもたちは

おいしそうに給食を食べ

ました。

児童会会長6年の大泉

壱音(かずと)さんは、「昔

のアイヌの人たちが、現

た。

（編集 佐々木）

はじめは光熱費を重

視していました。暮らしのコツを会員たちが説明し、その後、保温調理に役立つ「鍋帽子」を使つた調理が実演されました。鍋帽子とは綿の入った座布団と帽子を模したドーム型のグッズのこと。鍋にかぶせることで、余熱での調理になるため、ガスや電気の節約になり、煮物など長時間煮込む料理などに重宝されます。

作つたメニューはツナ

とニンジンの炊き込み

ピラフ。お米が入つた鍋にニンジン、ツナを加えて5分ほど加熱し、その後鍋帽子をかぶせ、20分ほどおいて完成。完成した料理の

原直彦講師から同イベ

ントの意義や、メニューや

食材提供の説明がありま

した。配膳されると関係

者は、先住の人々の食事

とは思えない多彩な献立

を見て驚き、おいしさに舌鼓を打ちました。

児童の給食の時間に

は、関係者一同が各教室

を廻り、子どもたちの食

事の様子を伺いました。

教室では「お肉がおいし

い」など、あふれる笑顔

で思い思いの感想を声に

しながら、子どもたちは

おいしそうに給食を食べ

ました。

児童会会長6年の大泉

壱音(かずと)さんは、「昔

のアイヌの人たちが、現

た。

（編集 佐々木）

はじめは光熱費を重

視していました。暮らしのコツを会員たちが説明し、その後、保温調理に役立つ「鍋帽子」を使つた調理が実演されました。鍋帽子とは綿の入った座布団と帽子を模したドーム型のグッズのこと。鍋にかぶせることで、余熱での調理になるため、ガスや電気の節約になり、煮物など長時間煮込む料理などに重宝されます。

作つたメニューはツナ

とニンジンの炊き込み

ピラフ。お米が入つた鍋にニンジン、ツナを加えて5分ほど加熱し、その後鍋帽子をかぶせ、20分ほどおいて完成。完成した料理の

原直彦講師から同イベ

ントの意義や、メニューや

食材提供の説明がありま

した。配膳されると関係

者は、先住の人々の食事

とは思えない多彩な献立

を見て驚き、おいしさに舌鼓を打ちました。

児童の給食の時間に

は、関係者一同が各教室

を廻り、子どもたちの食

事の様子を伺いました。

教室では「お肉がおいし

い」など、あふれる笑顔

で思い思いの感想を声に

しながら、子どもたちは

おいしそうに給食を食べ

ました。

児童会会長6年の大泉

壱音(かずと)さんは、「昔

のアイヌの人たちが、現

た。

（編集 佐々木）

はじめは光熱費を重

視していました。暮らしのコツを会員たちが説明し、その後、保温調理に役立つ「鍋帽子」を使つた調理が実演されました。鍋帽子とは綿の入った座布団と帽子を模したドーム型のグッズのこと。鍋にかぶせることで、余熱での調理になるため、ガスや電気の節約になり、煮物など長時間煮込む料理などに重宝されます。

作つたメニューはツナ

とニンジンの炊き込み

ピラフ。お米が入つた鍋にニンジン、ツナを加えて5分ほど加熱し、その後鍋帽子をかぶせ、20分ほどおいて完成。完成した料理の

原直彦講師から同イベ

ントの意義や、メニューや

食材提供の説明がありま

した。配膳されると関係